



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アシックス

コード番号 7936 URL <http://www.asics.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) 尾山 基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 加藤 勲

TEL 078-303-2213

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	76,563	15.8	8,524	2.4	9,530	22.5	6,584	33.4
25年3月期第1四半期	66,105	1.1	8,323	△1.6	7,781	△4.0	4,934	△4.6

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 15,015百万円 (62.2%) 25年3月期第1四半期 9,258百万円 (18.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	34.73	—
25年3月期第1四半期	26.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	264,096	150,763	53.9
25年3月期	244,725	138,078	53.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 142,367百万円 25年3月期 129,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	12.00	12.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	153,500	21.2	13,500	23.1	13,000	29.9	7,500	29.0	39.56
通期	315,000	21.1	24,500	31.3	24,000	16.9	14,500	5.3	76.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	199,962,991 株	25年3月期	199,962,991 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	10,375,031 株	25年3月期	10,373,487 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	189,588,678 株	25年3月期1Q	189,591,386 株
----------	---------------	----------	---------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成25年8月5日(月)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
(1) 連結分類別売上高明細表	11
(2) 地域別売上高	11
(3) 在外子会社為替換算レート	12
(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州政府債務問題など、下振れ懸念が続いているものの、弱い回復が続き、底堅さも見られました。日本経済は、経済政策、金融政策の効果による企業収益および個人消費の改善を背景に、持ち直しました。

スポーツ用品業界は、健康志向によるスポーツへの関心の高まりやランニングブームを背景に、堅調に推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、中期経営計画「アシックス・グロース・プラン (AGP) 2015」に基づき、引き続きグローバルレベルでの事業の強化・拡大を図りました。高機能ランニングシューズ「GEL-NIMBUS 15」、 「GEL-CUMULUS 15」の市場投入や、ランニングウエアを中心としたアパレルの拡充をグローバルレベルで行うとともに、パリ、ストックホルムをはじめとする世界各地のマラソン大会への協賛など、ブランド価値および企業イメージの向上に努めました。

販売面におきましては、大阪、シドニーにアシックスブランドの旗艦店およびオニツカタイガーブランドの直営店をそれぞれオープンするなど、売上拡大に努めました。また、当社グループのリテール事業のコンセプトおよび業績が評価され、世界で優れた小売業者を表彰する国際的な賞である「Retail and Leisure International」誌の「International Retailer 2013」を受賞しました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は76,563百万円と前年同期間比15.8%の増収となりました。このうち国内売上高は、主にランニングシューズが好調であったことに加え、自主管理売場の拡大に伴いウォーキングシューズおよびオニツカタイガーシューズが好調であったことなどにより、22,163百万円と前年同期間比3.9%の増収でした。海外売上高は、米州および欧州などでランニングシューズが好調に推移したことおよび為替換算レートの影響により、54,400百万円と前年同期間比21.5%の増収となりました。

売上総利益は主として売上高が増加したことにより、34,288百万円と前年同期間比15.7%の増益となりました。販売費及び一般管理費は、主に人件費、広告宣伝費および韓国子会社における支払手数料が増加したことなどにより、25,764百万円と前年同期間比20.9%の増加となり、営業利益は8,524百万円と前年同期間比2.4%の増益でした。経常利益は前年同期間は為替差損を計上しましたが、当第1四半期連結累計期間は為替差益を計上したことなどにより、9,530百万円と前年同期間比22.5%の増益となりました。四半期純利益は旧関東柏配送センターの土地売却による固定資産売却益の計上などにより、6,584百万円と前年同期間比33.4%の増益となりました。

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、前第4四半期連結会計期間より、日本地域においてセグメント区分を変更しておりますが、前第1四半期連結累計期間について変更後の区分方法による作成が困難なため、比較を行っておりません。

① 日本地域

日本地域におきましては、売上高は27,644百万円となり、セグメント利益につきましては980百万円となりました。

② 米州地域

米州地域におきましては、ランニングシューズが好調であったことおよび為替換算レートの影響により、売上高は21,872百万円（前年同期間比26.7%増、前年度の為替換算レートを適用した場合10.2%増）となったものの、セグメント利益につきましては主として広告宣伝費の増加により、2,658百万円（前年同期間比15.2%増、前年度の為替換算レートを適用した場合0.3%増）にとどまりました。

③ 欧州地域

欧州地域におきましては、ランニングシューズが好調であったことおよび為替換算レートの影響により、売上高は21,444百万円（前年同期間比18.1%増、前年度の為替換算レートを適用した場合3.1%増）となったものの、セグメント利益につきましては、広告宣伝費は減少しましたが、仕入コストの上昇および直営店の新規出店による販売費及び一般管理費の増加などにより、3,338百万円（前年同期間比6.1%減、前年度の為替換算レートを適用した場合18.1%減）でした。

④ オセアニア地域

オセアニア地域におきましては、ランニングシューズが好調であったことおよび為替換算レートの影響により、売上高は3,894百万円（前年同期間比23.2%増、前年度の為替換算レートを適用した場合8.6%増）となったものの、セグメント利益につきましては人件費などの増加により、1,001百万円（前年同期間比14.2%増、前年度の為替換算レートを適用した場合0.7%増）にとどまりました。

⑤ 東アジア地域

東アジア地域におきましては、為替換算レートの影響および韓国子会社において最終消費者への販売価格で売上高を計上したことの影響により、売上高は4,674百万円（前年同期間比46.1%増、前年度の為替換算レートを適用した場合22.6%増）となりましたが、韓国子会社において販売代理店に支払うコミッションを支払手数料として計上したことおよび中国子会社において人件費、広告宣伝費などが増加したことにより、セグメント利益は223百万円（前年同期間比10.3%減、前年度の為替換算レートを適用した場合23.9%減）となりました。

⑥ その他事業

その他事業におきましては、ホグロフスブランドのアウトドアウェアなどが低調であったものの、アウトドアシューズが堅調であったことおよび為替換算レートの影響により、売上高は2,554百万円（前年同期間比17.5%増、前年度の為替換算レートを適用した場合1.6%減）となりましたが、仕入コストにかかる為替レートの影響などによりセグメント損失は176百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産264,096百万円（前連結会計年度末比7.9%増）、負債の部合計113,332百万円（前連結会計年度末比6.3%増）、純資産の部合計150,763百万円（前連結会計年度末比9.2%増）でした。

流動資産は、売上債権およびたな卸資産の増加などにより、193,339百万円（前連結会計年度末比9.4%増）でした。

固定資産は、アシックスジャパン株式会社新社屋の建設に伴う建設仮勘定の増加による有形固定資産の増加および長期デリバティブ資産の増加による投資その他の資産の増加などにより、70,757百万円（前連結会計年度末比4.0%増）でした。

流動負債は、仕入債務および短期借入金ならびに未払金などの増加によるその他流動負債の増加により、70,076百万円（前連結会計年度末比9.4%増）でした。

固定負債は、繰延税金負債の増加などにより、43,256百万円（前連結会計年度末比1.5%増）でした。

株主資本は、利益剰余金の増加により、139,030百万円（前連結会計年度末比3.2%増）でした。

その他の包括利益累計額は、繰延ヘッジ損益および為替換算調整勘定が増加したことにより、3,336百万円と前連結会計年度末に比べ8,149百万円増加しました。

少数株主持分は、8,396百万円（前連結会計年度末比2.5%増）でした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関する事項については、本日（平成25年8月5日）公表の「平成26年3月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正および平成26年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項がないため記載しておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,420	38,051
受取手形及び売掛金	70,600	78,390
有価証券	2,472	2,532
商品及び製品	54,491	60,662
仕掛品	329	305
原材料及び貯蔵品	1,118	1,129
繰延税金資産	4,835	5,371
その他	8,024	9,718
貸倒引当金	△2,593	△2,822
流動資産合計	176,698	193,339
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,154	29,213
減価償却累計額	△20,019	△18,398
建物及び構築物（純額）	11,135	10,814
機械装置及び運搬具	4,642	4,629
減価償却累計額	△3,633	△3,582
機械装置及び運搬具（純額）	1,008	1,047
工具、器具及び備品	14,895	15,346
減価償却累計額	△9,353	△9,470
工具、器具及び備品（純額）	5,542	5,876
土地	10,048	9,586
リース資産	4,890	5,356
減価償却累計額	△1,519	△1,686
リース資産（純額）	3,370	3,670
建設仮勘定	539	2,074
有形固定資産合計	31,644	33,070
無形固定資産		
のれん	4,964	5,183
その他	12,941	13,408
無形固定資産合計	17,906	18,592
投資その他の資産		
投資有価証券	9,375	8,478
長期貸付金	399	398
繰延税金資産	1,174	1,159
その他	8,027	9,629
投資損失引当金	—	△74
貸倒引当金	△500	△497
投資その他の資産合計	18,476	19,094
固定資産合計	68,026	70,757
資産合計	244,725	264,096

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,973	27,616
短期借入金	11,479	14,477
リース債務	560	598
未払費用	10,796	10,291
未払法人税等	3,192	3,347
未払消費税等	906	1,446
返品調整引当金	605	465
賞与引当金	2,295	2,691
繰延税金負債	31	440
資産除去債務	3	3
その他	7,185	8,697
流動負債合計	64,028	70,076
固定負債		
社債	16,000	16,000
長期借入金	8,305	8,406
リース債務	3,029	3,277
退職給付引当金	8,405	8,563
繰延税金負債	3,917	4,559
資産除去債務	711	761
その他	2,249	1,688
固定負債合計	42,618	43,256
負債合計	106,646	113,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,972	23,972
資本剰余金	17,182	17,182
利益剰余金	101,368	105,701
自己株式	△7,823	△7,826
株主資本合計	134,699	139,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,327	2,359
繰延ヘッジ損益	1,050	3,664
在外子会社資産再評価差額金	287	263
為替換算調整勘定	△8,476	△2,950
その他の包括利益累計額合計	△4,812	3,336
少数株主持分	8,191	8,396
純資産合計	138,078	150,763
負債純資産合計	244,725	264,096

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	66,105	76,563
売上原価	36,735	42,425
返品調整引当金戻入額	580	542
返品調整引当金繰入額	321	392
売上総利益	29,629	34,288
販売費及び一般管理費	21,305	25,764
営業利益	8,323	8,524
営業外収益		
受取利息	105	101
受取配当金	99	104
為替差益	—	904
負ののれん償却額	1	—
その他	139	92
営業外収益合計	346	1,204
営業外費用		
支払利息	173	180
為替差損	653	—
その他	61	17
営業外費用合計	888	198
経常利益	7,781	9,530
特別利益		
固定資産売却益	15	423
投資有価証券売却益	0	34
特別利益合計	15	457
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	3	7
投資有価証券評価損	0	—
投資有価証券売却損	—	25
投資有価証券償還損	6	—
特別損失合計	10	32
税金等調整前四半期純利益	7,785	9,955
法人税等	2,743	3,175
少数株主損益調整前四半期純利益	5,042	6,779
少数株主利益	107	194
四半期純利益	4,934	6,584

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,042	6,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△311	32
繰延ヘッジ損益	△1,242	2,639
在外子会社資産再評価差額金	△23	△23
為替換算調整勘定	5,792	5,588
その他の包括利益合計	4,215	8,236
四半期包括利益	9,258	15,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,119	14,734
少数株主に係る四半期包括利益	139	281

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営執行会議が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、世界本社として主に経営管理および商品開発を行っております。

当社グループは、主にスポーツ用品等を製造販売しており、国内においてはアシックスジャパン株式会社、アシックス販売株式会社、その他の国内法人が、海外においては米州、欧州・中近東・アフリカ、オセアニア/東南・南アジア、東アジアの各地域をアシックスアメリカコーポレーション、アシックスヨーロッパ B.V.、アシックスオセアニアPTY.LTD.、その他の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」、「オセアニア地域」、「東アジア地域」は、主にスポーツ用品等を販売しており、「その他事業」は、ホグロフスブランドのアウトドア用品を製造および販売しております。

なお、「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、前第4四半期連結会計期間から報告セグメントの区分を変更しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

(単位：百万円)

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	22,124	17,265	18,156	3,161	3,198	2,173	66,081	24	66,105
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,468	—	—	—	—	—	4,468	(4,468)	—
計	26,593	17,265	18,156	3,161	3,198	2,173	70,550	(4,444)	66,105
セグメント 利益又は損失	1,485	2,306	3,555	877	249	25	8,500	(177)	8,323

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない子会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない子会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

（単位：百万円）

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	22,065	21,872	21,444	3,894	4,674	2,554	76,506	57	76,563
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,578	—	—	—	—	—	5,578	(5,578)	—
計	27,644	21,872	21,444	3,894	4,674	2,554	82,085	(5,521)	76,563
セグメント 利益又は損失	980	2,658	3,338	1,001	223	(176)	8,026	498	8,524

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、国内の組織再編として、吸収分割および吸収合併により、平成25年1月1日付で、世界本社機能と日本事業を分離し、当社における日本事業をアシックスジャパン株式会社およびアシックス販売株式会社に移管いたしました。これにより従来「日本地域」に含まれていた当社および国内製造子会社の業績を調整額に移行させることで、「日本地域」には日本事業のマーケティング・販売機能の業績のみを反映させ、セグメント情報の有用性をさらに高めることといたしました。この組織再編に伴い、取締役会に報告する区分の見直しを行ったため、報告セグメントを上記のとおりに変更することといたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間についてセグメント売上高、セグメント利益又は損失の金額を、変更後の報告セグメント区分により収集していないため、これによる前第1四半期連結累計期間のセグメント利益を算出することは実務上困難であります。よって当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高、セグメント利益又は損失の金額に関する情報を、変更前の区分により表示すると次のようになります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

（単位：百万円）

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	22,079	21,872	21,444	3,894	4,674	2,554	76,520	43	76,563
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,263	—	—	—	—	—	9,263	(9,263)	—
計	31,342	21,872	21,444	3,894	4,674	2,554	85,783	(9,220)	76,563
セグメント 利益又は損失	2,480	2,658	3,338	1,001	223	(176)	9,527	(1,002)	8,524

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない子会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない子会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

重要な事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

重要な事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項がないため記載しておりません。

4. 補足情報

(1) 連結分類別売上高明細表

(分類)		前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		増減 (△は減)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
スポーツシューズ類	国内	12,144	18.4	13,030	17.0	886	7.3
	海外	38,559	58.3	46,279	60.5	7,720	20.0
	計	50,703	76.7	59,310	77.5	8,606	17.0
スポーツウェア類	国内	6,017	9.1	5,852	7.6	△164	△2.7
	海外	4,950	7.5	6,515	8.5	1,565	31.6
	計	10,967	16.6	12,367	16.1	1,400	12.8
スポーツ用具類	国内	3,179	4.8	3,280	4.3	100	3.2
	海外	1,254	1.9	1,605	2.1	350	27.9
	計	4,434	6.7	4,885	6.4	450	10.2
合計	国内	21,341	32.3	22,163	28.9	822	3.9
	海外	44,764	67.7	54,400	71.1	9,635	21.5
	計	66,105	100	76,563	100	10,457	15.8

- (注) スポーツシューズ類：ランニングシューズ、陸上競技・マラソン・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ベースボール・テニス等の各種競技用シューズ、ウォーキングシューズ、スクールスポーツシューズ、スポーツスタイルシューズ、ジュニアシューズ、キッズシューズ等
- スポーツウェア類：トレーニングウェア、アスレチックウェア、スクールスポーツウェア、ベースボールウェア、スイムウェア、スポーツスタイルウェア、アウトドアウェア等
- スポーツ用具類：ベースボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ等の各種用具、スポーツバッグ、スポーツネット、サポーター、陸上競技用機器等

(2) 地域別売上高

前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	その他	合計
21,341	17,266	19,742	7,755	66,105

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	その他	合計
22,163	21,872	23,345	9,182	76,563

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(3) 在外子会社為替換算レート

	USD	EUR	AUD	KRW	SEK
平成25年3月期第1四半期(円)	79.23	104.87	83.19	0.0698	11.83
平成26年3月期第1四半期(円)	91.06	120.16	94.38	0.0837	14.13
増減(円)	+11.83	+15.29	+11.19	+0.0139	+2.30
増減比(%)	+14.9	+14.6	+13.5	+19.9	+19.4

(注) 上記にて在外子会社の損益計算書を換算しております。

(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率

		日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業
売上高増減比(%)	(外貨)	—	+10.2	+3.1	+8.6	+22.6	△1.6
	(邦貨)	—	+26.7	+18.1	+23.2	+46.1	+17.5
セグメント利益増減比(%)	(外貨)	—	+0.3	△18.1	+0.7	△23.9	—
	(邦貨)	—	+15.2	△6.1	+14.2	△10.3	—
セグメント利益率(%)		3.5	12.2	15.6	25.7	4.8	△6.9